

特集 高齢障害者の自動車運転

安全運転法の考え方と高齢者や障害者の安全運転の可否推定及び

安全運転法の指導法に關しての考察	松永勝也
自動車教習所と医療・福祉分野の連携に必要な基礎知識	藤田佳男, 他
坂総合病院における自動車運転評価の実践報告	菅野俊一郎, 他
脳障害者の自動車運転再開支援	長江和彦, 他
認知症者・高次脳機能障害者の自動車運転について	加藤徳明, 他
高齢運転者の健康起因事故における法的責任	馬場美年子

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名誉顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美 有賀 徹
伊佐地隆 石松隆和
伊藤貴子 岩崎千佳
上菌紗映 生方克之
逢坂伸子 大越 満
太田秀樹 大武美保子
岡田しげひこ 乙坂佳代
加来克幸 寛 淳夫
加藤武彦 金子 寿
川越雅弘 木下康仁
桑山浩明 小林直樹
齋藤正洋 榊原次郎
座小田孝安 佐藤久夫
鈴木孝治 武原光志
玉垣 努 角町正勝
土井勝幸 野尻晋一
橋本美芽 長谷川幹
畑野栄治 半田理恵子
東川悦子 備酒伸彦
廣末ゆか 福田俊江
古屋 聡 丸山 泉
水間正澄 宮崎宏興
宮田昌司 村井千賀
村上重紀 森岡悦子
柳 尚夫 山川百合子
山口晴保 若林秀隆

●査読委員

稲川利光 梅津祐一
金城利雄 阪井康友
澤 俊二 野崎園子
備酒伸彦 松坂誠應
水間正澄

●編集後記

本号の特集では「認知症者の社会参加」が取り上げられていますが、認知症も一人ひとりの状況に応じた対応が必要となり、社会との接点をいかに効果的に作っていくかという点では高齢者ケア全般の目的とまったく重なってくると考えられます。全国各地での大変興味深い実践が具体的に紹介されており、今後のさらなる展開にも期待したいところです。

さて、平成27年度の介護報酬改定において、在宅のリハは「活動と参加」に重点をおくような方向性が提示されました。つまり、社会参加の重要性がここでも強調されました。これに伴って通所リハや訪問リハといった在宅リハに関しては、かなり基本的な考え方の変更を余儀なくされたと言えます。リハサービスのマネジメントのあり方が具体的に提示され、リハビリ会議を定期的に開催し、リハ計画は医師からの説明が必須とされました。おそらく多くのセラピストの所属する医療機関ではリハマネジメント加算の(Ⅱ)を取得するための工夫を如何にしていくなかで、現場ではてんてこ舞いの状況が続いているのではないのでしょうか。

先日、関係している地域の在宅リハ研究会の研修会が開催され、介護報酬改定にあたって、セラピストが関与する通所リハ、通所介護、訪問リハの各現場でどのような工夫を行っているかといったシンポジウムが企画されました。病院で通所リハの責任者をしているセラピストからは、(Ⅱ)を取るとなると現状の医師の関与では対応ができないということで、3年計画で医師を増員させて取得していくことになったと報告がありました。担当者会議やリハ会議をしっかりと実施していくためには医師やセラピストの負担がかなり大きくなるとされ、地道な対応であると感心しました。

さらに通所介護を起業しているセラピストは「経営は確かに苦しくはなったが、これまでやってきたことが評価された」と胸を張っていました。セラピストの関与が個別リハだけで評価されていたものが、どんな内容でどのように生活の質を変えられたのかが大事だとまとめていました。

訪問リハでも一律に(Ⅱ)を取っていくのではなく、新規のケースは(Ⅱ)から始めて、安定すれば(Ⅰ)へ移行するなど、本来の目的であるマネジメントの比重を変化させることも重要との意見が出されていました。今後、(Ⅱ)がスタンダードになってくるのであれば、医師もセラピストも大幅な増員を図っていく必要があります。

今回の介護報酬改定はマネジメントの重要性が強調され、一律の個別リハの提供ではなく、一人ひとりの利用者の状況に応じてセラピストの対応も変えていくといった本来のリハの原点に立ち返る思いがしました。今回の介護報酬改定は在宅リハの質の向上に向けた試金石ととらえられ、今が踏ん張りどころと感じています。

編集委員 伊藤隆夫

第10巻第9号[通巻114号] 2015年9月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 9月号

1部定価(本体1,800円+税)
2015年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2015, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。